

東日本高速道路(株)新潟支社との意見交換会意見・要望 (R2. 10. 7)

1. 入札契約手続きの迅速化について

会員企業における技術者・技能労働者は高齢化と若手入職者の大幅減少により、ピーク時平成9年の半数にまで減少し、産業として存続が危惧される厳しい状態にあり、会員は技術者等の効率的な配置に腐心しているところです。

NEXCO東日本の入札契約手続きにおいて開札から落札者決定までの時間が長期であり、配置予定技術者がその間拘束されています。

受注ができない会社が工事の配置予定技術者等をすみやかに他工事へ配置できるよう、入札契約手続きのより一層の迅速化をお願いいたします。

[参考]

北陸地方整備局発注工事(港湾空港関係を除く)で平成29年1月1日から令和元年7月31日までに契約した一般土木工事、法面処理工事、維持修繕工事、アスファルト舗装工事532件においては、開札日から契約日まで平均約7日間。

※維持修繕工事のうち、堤防除草、除雪、事業用地管理及び監督員の指示に基づき、その都度実施する作業等の工事は除く。

2. 設計積算における割掛について

NEXCO東日本では、積算に於いては「割掛」といった他の発注者にはない仕様があり、内訳については公表されるようになりました。しかし、設計変更等の際には、「割掛」が入っている工種全てが設計変更となる可能性も有り、非常に変更契約の手続きが煩雑となります。つきましては、足場工や支保工などの割掛けを無くして、単純に仮設費などを単価計上する方式に変更されるよう、検討をお願いします。

また、現在、新潟支社にて積算内訳書の閲覧は可能ですが、単価構成が不明ですので、代価表等が閲覧できるよう、工事費内訳書(明細を含む)の公表をお願いします。

3. 工事の条件明示について

北陸地方建設事業推進協議会工事施工対策部会において、官民協働で作成された工事施工の円滑化4点セットについて、NEXCO東日本新潟支社での取り組みが他の発注者に比べて遅れているとの声があります。

特に、適正な工期設定の基本となる施工条件の明示が不十分であり、民地を借用し施工する場所においては、借地契約に要する時間が非常に長く、工程管理に影響がでることとなりますので、発注者サイドで入札前にある程度、地主等と協議を進めておいていただくとともに、施工条件等で制約をうける状況があるのであれば、しっかりと条件明示されるよう、お願いいたします。

4. 設計図書と現場の差異について

建設工事の請負契約書には、約款と設計図書に従い、契約を履行しなければならないと明記されており、受注者は、設計図書に従って工事を施工する義務を負っています。

しかしながら、NEXCO東日本新潟支社発注工事においては、受注後に工事現場を照査したところ、発注時の設計図書との差異が多く見受けられます。

特に、高速道路においては、停車して事前に現場を確認することができないため、入札に参加することを躊躇することとなりますので、工事現場の形状、地質、湧水等の状態、施工上の制約等設計図書に示された自然的な施工条件と実際の工事現場が一致しないことがないよう、発注時の設計図書について、他の発注者より、さらにきめ細やかな配慮をお願いいたします。

5. BIM/CIM への取り組みについて

国土交通省では、建設現場の生産性向上を図る i-Construction の取組において、新たな社会資本整備を見据えた3次元データを基軸とする建設生産・管理システムを実現するため BIM/CIM の取り組みを推進されていますが、NEXCO東日本における BIM/CIM への取り組みに関して、下記について、お聞かせ願います。

- ① BIM/CIM 導入により、設計段階でのフロントローディングの効果は大きいと思われ
ますが、施工者を含めた設計時の検討は、より大きな効果が期待できると考えており
ます。NEXCO 東日本では、今後多様な契約方式として、「詳細設計付工事発注方式」「設
計・施工一括発注方式」「ECI 方式」などの導入はどのように進めていく方針か。
- ② 設計段階で『BIM/CIM による詳細設計』を実施し、施工段階において3次元モデル
を『ICT活用工事』に利用する予定と伺っております。加えて、橋梁など構造物や
維持管理工事に対する効果も大きいと思われまますので、構造物や維持管理に関しても、
設計段階、施工段階にBIM/CIM を取り入れて行かれる方針か。
- ③ 設計者、施工者の3次元CAD操作習得を含めBIM/CIM をマネジメントできる技術
者の育成に努めておりますが、NEXCO東日本では職員に関するBIM/CIM のマネー
ジャー教育、3DCAD 習得などは、どのように進めて行かれる方針か。